

西東京市立保谷中学校
学 校 便 り　　７ 号
令和８年１０月３０日（金）

校長　市来原　真茂

先日の合唱コンクールでは、心を合わせた美しい歌声を聴かせてくれて、ありがとうございました。それぞれの学級の歌声から、仲間と積み重ねてきた練習や、歌に込めた思いが伝わってきました。また、実行委員、指揮者、伴奏者をはじめ、自分の役割を果たし、仲間を支えた皆さんにも感謝しています。

本番を終えて、やり切った喜びを感じた人も、悔しさが残った人もいるでしょう。どちらの思いも、仲間と考え、工夫し、練習を重ねてきたからこそ生まれたものだと思います。その過程を振り返ると、皆さんには、どのような力が身に付いたでしょうか。仲間と協力する力、相手の意見を聴く力、うまくいかなくても工夫して取り組む力など、それぞれに得たものがあると思います。「どのように取り組み、何が身に付いたのか」を、自分の言葉で振り返ってみてください。

そうした学びの一つに、「言葉に込められた思いをくみ取り、伝えること」もあるのではないでしょうか。練習の中で、「この歌詞には、どんな気持ちが込められているのだろう」「どう歌えば、その思いが届くだろう」と考えた場面を思い出してみてください。歌詞には、直接書かれた言葉だけでなく、その奥にある気持ちや情景があります。どのような場面なのか、誰に何を伝えたいのかを想像することで、大切に歌いたい言葉や、声の響かせ方も変わってきます。

仲間と歌詞の意味を話し合い、自分たちなりの表現を考えたことは、相手の思いを理解し、自分の思いを伝える力につながっています。

この力は、普段の生活でも生かすことができます。仲間の言葉を聴くとき、その言葉だけで決め付けず、「どんな気持ちなのだろう」と考え、分からなければ尋ねてみる。自分が話すときには、「どう伝えれば、思いが届くだろう」と考えてみる。合唱で大切にしたことを、日々の会話にも生かしてほしいと思います。

まずは、今回学んだことをこれからの生活の中で実践してみてください。その小さな一歩を重ねながら、仲間と共に成長していく皆さんを楽しみにしています。

合唱コンクール（担当：合唱コンクール実行委員）

10月22日(木)、タクトホームこもれびGRAFAREホールにて合唱コンクールを行いました。今年は「天歌夢奏～響き渡る青春メロディ～」のスローガンのもと、夏休み前から実行委員が準備を始め、当日に臨みました。１年生・のびる学級の課題曲「カリブ夢の旅」は、軽やかなリズムと明るい響きが特徴で、基礎的な発声を学びながら“声を合わせる楽しさ”を感じ、エネルギー溢れるフレッシュな歌声で歌いました。２年生の課題曲「あなたへ」は、柔らかいハーモニーと丁寧な言葉の表現が求められる曲ですが、互いに聴き合いながら響きを整え、去年よりも深みの増した合唱を作り上げてくれました。３年生の課題曲「予感」は、静かな始まりから力強い高まりへと向かう構成が魅力で、最高学年としてクオリティの高く、大人に近づいた３年間の成長の集大成を見せてくれました。

学年リハーサルでは思うように歌えず悔しさや焦りが見えていましたが、特別練習を経て各クラスが団結し、お互いを高め合うことで大きく成長しました。運営面では合唱コンクール実行委員が進行や準備を丁寧に支え、全校の活動を力強く牽引しました。積み重ねた努力が大きな響きとなってホールに広がり、学校全体が音楽でつながる素晴らしい時間となりました。「保谷中学校の合唱はすごい」という伝統がこの先も続き、さらに良いものになっていってほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、準備や当日のご協力ありがとうございました。

１年生



のびる学級



２年生



３年生



修学旅行 「『楽学両道』を実現した修学旅行」（担当：第3学年）



今回の修学旅行では、10月４日（日）～6日（火）の２泊３日で京都・奈良への修学旅行を実施しました。3年間共通しているスローガン「楽学両道」を掲げ、充実した時間を過ごすことができました。振り返れば、1年生での川越校外学習やスキー教室、2年生での浅草校外学習など、これまでの行事を通して、生徒たちは集団で行動することの大切さや、仲間と協力することの難しさを学んできました。今回の修学旅行では、そうした経験を生かし、自分たちで見学場所や行動コースを考え、実行委員を中心に持ち物や生活のルールについても話し合いながら準備を進めてきました。修学旅行は、単なる楽しい旅行ではなく、「修学」のための旅行です。普段の授業で学んだ歴史や文化に実際に触れ、教室だけでは得られない発見をすることはもちろん、仲間との共同生活を通して学ぶことも大きな目的の一つです。時間を意識して行動すること、自分に任された役割に責任をもつこと、意見が異なるときには互いに譲り合い、協力すること。一人ひとりが自分の役割を果たそうとする姿勢があってこそ、集団での活動は成り立ちます。今回、大きなトラブルもなく修学旅行を終えることができたのは、生徒たちがこれまでの経験を生かし、互いに協力しながら行動できた成果だと感じています。修学旅行で培った力は、これからの学校生活にもつながっていきます。日々の係活動や委員会活動、学校行事での役割分担はもちろん、進路選択に向けて自ら考え、計画を立てて行動する場面でも、今回の経験を生かしてほしいと思います。楽しかった思い出とともに、一人ひとりが得た学びや成長を、卒業までの学校生活につなげてくれることを期待しています。



修学旅行 「3年間の集大成」（担当：のびる学級 3 学年）



10月４日（日）～6日（火）の２泊３日で修学旅行を実施しました。1年生から3年生までに3回の宿泊学習を実施し、今回は4回目の集大成となる宿泊学習でした。初日は奈良公園と伏見稲荷大社へ行きました。奈良公園では、広々とした園内を散策しながら、古都奈良の歴史と自然を感じることができました。東大寺の大仏に圧倒され、柱の穴くぐりで思い出をつくることもできました。奈良の古代文化と京都の伝統的な信仰に触れ、日本の歴史の奥深さを実感する一日となりました。2日目は京都の歴史や文化をさらに深く学ぶ一日となりました。二条城を見学した後、嵐山での班別行動、北野天満宮、金閣寺と、さまざまな名所を巡りました。嵐山での班別行動では、事前学習で行きたい場所やルート、時間など班員と話し合って決め、当日も協力しながら行動することができました。北野天満宮は、学問の神様として知られる菅原道真公をお祀りする神社です。学業成就を願う生徒たちにとっても、これからの学習や自分の目標について考えるきっかけになったのではないでしょうか。最終日は、清水寺へ行きました「清水の舞台」に立ち、遥か昔の巧みな技術を体感し、京都の街並みや自然の景色を眺めました。

この修学旅行の目的である①日本の伝統や文化についての理解を深める②集団生活を通してルールやマナーを身につける③中学校生活最高の思い出をつくることを見事に達成することができました。友達を気づかうこと、周りをみて行動すること、楽しむときと真面目に過ごすときのメリハリをつけることがしっかりとできていました。受験も控えた中、3月の卒業へ向けて一日一日が進んでいきます。最後まで成長し続けられる集団であることを願っています。

